

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

信仰の歴史からの水産業振興計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長崎県及び雲仙市

3 地域再生計画の区域

長崎県五島市及び雲仙市の区域の一部【福江港、玉ノ浦港、相の浦港、椀島港及び京泊漁港（京泊地区）】

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現況

福江港、玉ノ浦港、相の浦港、椀島港は、長崎県の五島列島の南側に位置する五島市に所在している。

五島列島は、長崎市の西方約 100km に浮かぶ中通島、若松島、奈留島、久賀島、福江島など 18 の有人島と 112 の無人島からなる幅 30km、長さ 80km（男女群島は更に南西海上 70km）の島嶼群である。平成 16 年 8 月に福江市、富江町、玉之浦町、三井楽町、岐宿町、奈留町の 1 市 5 町が合併し、「五島市」が誕生した。面積は 420.9km²、人口は約 39 千人であり、美しい自然景観や歴史遺産としての教会群、遣唐使にまつわる史跡などが人気を博し、年間に延べ 64 万人の観光客が訪れている。標高 400m 前後の山々や、臼状・盾状の複合火山である鬼岳、断層に沿って曲走する河川、東シナ海の荒海によって形成された大瀬崎付近の海蝕崖、豊かな緑に覆われた溶岩台地の岬、エメラルドグリーンの海と白い砂浜が広がる高浜・頓泊ビーチなど、バラエティに富んだ景観が見られ、自然の魅力に満ちた宝の島であり、列島の広い範囲が西海国立公園に指定されている。

京泊漁港は島原半島の雲仙市に所在している。雲仙市は、長崎県の南東部、島原半島の北西部に雲仙普賢岳を取り巻くように位置し、北に有明海、西に橘湾と 2 つの海に面しており、島原半島の陸の玄関口となっている。また、多以良港は島原港、口之津港と並ぶ海の玄関口であり、さらに雲仙市（吾妻町）と諫早市（高来町）を結ぶ諫早湾干拓堤防道路が開通し、半島全域の交通の要衝を占めている。

福江港は、五島列島の南西部に位置し、長崎航路、上五島航路、博多航路のフェリーや高速船等を始め、周辺離島の高速船等が就航する人流・物流の拠点で国境離島地域の中核を担う重要港湾である。また、漁港機能（水揚、準備機能やマグロを含む水産物の出荷機能）も有しており、福江島で重要な役割を果たしている。

玉ノ浦港は、福江島の南西に位置し、地形は港内一帯において深く入り込んだ入り江が無数にあり、背後を急峻な山に囲まれ、平地は少なく、埋立により宅地及び事業所等の用地を確保している港湾で、周辺は東シナ海に面した好漁場に恵まれ、一本釣りや大型定置網漁業のほか、静穏な海面を生かして魚類等の養殖が盛んに行

われてきた。特に近年はマグロ養殖が盛んに行われており、これまでの天然種苗養殖に加え人工種苗によるマグロの完全養殖にも取り組む水産拠点としての役割を担っている。

相の浦港は、五島列島のほぼ中央に位置し、五島～長崎、五島～博多、五島沿岸航路の寄港地として、二次離島である奈留島の人流・物流の拠点港であり、まき網や一本釣り、刺し網が主流の中、近年はマグロ養殖が行われている。これまで地元で水揚げした魚類をエサとしていたが、マグロの漁獲量増加により、最近では島根県境港などからも長崎港からのフェリーを利用して餌を搬入しており、水産業によるフェリーの利用も増加している。

椛島港は、福江島の北東に位置し、五島灘に面した好漁場に恵まれ漁場を中心に繁栄してきており、近年は新たなマグロ養殖の基地としての役割が期待されている。

京泊漁港（京泊地区）は、島原半島の南西部に位置し、まき網、刺し網、定置網及び養殖業を主体とした沿岸漁業を営んでおり、雲仙市を代表する水揚げ拠点港となっている。水揚げされた水産物は五島のマグロ養殖場へ餌として出荷されている他、京泊漁港（京泊地区）周辺で行われているブリ養殖用の餌としても使用されている。特に、雲仙ブランド認定を受けている養殖ブリは、ビワ茶雲仙ブリとして関西の大手スーパーとのオリジナル商品として出荷され、京阪神地区の消費者から高い評価を得ている。

平成 27 年度に「明治日本の産業革命遺産」として端島炭坑（軍艦島）や旧グラバー住宅等が世界遺産に登録され、県全体が大きく盛り上がる中、さらに「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」として 12 の構成資産の平成 30 年度世界遺産登録がなされている。その構成資産の中には、相の浦港も位置する奈留島の江上教会、久賀島の旧五輪教会、雲仙市に隣接する南島原市の原城跡も含まれる。世界遺産の登録が実現すると、観光客の増加が見込まれる中、すでに五島では教会群を巡る五島自動車株式会社主催の「五島列島キリシタンクルーズ」、五島市観光協会主催の「五島列島キリシタン物語」といったツアーも実施され、着実に参加者が増加している状況である。

南島原市においても同様に観光客の増加が見込まれ、南島原市により原城周辺の崩落対策や駐車場の新設整備、説明板の更新作業のハード対策だけでなく、有馬歴史ガイドといったアプリを作成し、タブレットを利用したガイドシステムを構築するソフト対策も行っている。また、観光協会や地元住民によるガイドを行っており、官民一体となり、世界遺産登録に向け準備を進めている。そのような受入体制の整備が推進されている中、京泊漁港（京泊地区）においても、原城跡に隣接する位置関係及び静穏度が確保された漁港であることから、世界遺産観光を目的とした交流人口の増加も予想される。

4-2 地域の課題

近年、五島市では、マグロ養殖の拡大により、餌の確保や餌の備蓄及び網補修の

用地不足が課題となっている。京泊漁港（京泊地区）では、雲仙ブランドのブリの販売計画拡大や病気等のリスクに対応するため、五島地域の養殖業者にブリの養殖を依頼し、五島地域とブリを共同で出荷できる体制をとっており、五島地域へ餌を更に供給する必要がある。このように、各地区において養殖業等の水産業が発展するのに対し、漁業者の高齢化や後継者不足などが問題となっており、干満差で生じる出漁準備や陸揚といった作業の重労働を解消するための施設整備が急務となっているほか、施設の老朽化による安全性も課題となっている。

また、世界遺産登録などにより観光業が注目される中、施設の老朽化が顕著に表れ、利用に支障をきたしており、利用時の安全対策といった課題を抱えている。

4-3 計画の目標

こうした状況を踏まえ、玉ノ浦港、相の浦港、椛島港及び京泊漁港（京泊地区）において陸揚げ、準備作業の軽労化や作業の効率化など就労環境の改善及び安全性の向上を図る施設を総合的に整備することにより、養殖用餌や稚魚の安定的な確保といった効果が得られ、養殖の推進等により雇用の創出を図る。また、福江港において、世界遺産登録による島外からの観光客の利便性・安全性・満足度の向上を図るため各種施設整備を行い、観光振興・地域全体の活性化を図る。

（目標 1）五島市マグロ出荷量の増加

900 t / 年 (H26) → 1,350t / 年 (R4)

（目標 2）五島市観光客の増加

400,282 人 / 年 (H26) → 489,080 人 / 年 (R4)

（目標 3）五島列島キラシタンクルーズ参加者の増加

969 人 / 年 (H27) → 2,400 人 / 年 (R4)

（目標 4）雲仙市の漁業生産量の増加

275t (H26) → 334t (R4)

（雲仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成 27 年 12 月長崎県雲仙市）

5. 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

福江港大波止地区は、フェリーや高速船の係留施設、観光客が利用する緑地を改良し、福江島の玄関口としての人流機能や水産物の出荷機能の強化を図る。福江港の丸木地区は、施設利用者の安全性向上及び作業効率の向上のための物揚場の改良を行い、当該施設へのアクセス道となる橋梁の改良を行う。また、福江港大津地区は、漁船の係留時（休けい）の静穏度確保のため防波堤を整備し、施設利用者の安全性の向上のため物揚場の改良を行い、当該施設へのアクセス道となる臨港道路の改良を行う。

玉ノ浦港越首地区は、陸揚げや給油給氷時の静穏度確保のため、防波堤を整備し、利用者の安全性向上のため、浮棧橋の改良を行う。玉ノ浦港小浦地区は、漁船の安全航行確保のため航路浚渫を行い、施設利用者の安全性向上及び作業効率向上のため

め、物揚場及び船揚場の改良を行う。玉ノ浦港向小浦地区は、施設利用者の安全性向上及び作業効率の向上のため、物揚場の改良を行う。

相の浦港は、漁獲物の運搬や観光客といった人流・物流の利便性向上や満足度向上を目指すため、可動橋や岸壁、物揚場、浮棧橋、道路の改良を行う。

椀島港、京泊漁港（京泊地区）は、施設利用者の安全性向上及び作業効率向上のため、浮棧橋及び道路の整備、物揚場及び橋梁の改良を行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 地方創生港整備推進交付金【A3010】

[施設の種類の事業主体]

- ・港湾施設（福江港、玉ノ浦港、相の浦港、椀島港） 長崎県
- ・漁港施設（京泊漁港（京泊地区）） 雲仙市

[事業期間]

- ・港湾施設 平成28年度～令和4年度
- ・漁港施設 平成29年度～令和4年度

[整備量]

- ・港湾施設 外郭施設、係留施設、臨港交通施設、水域施設
港湾環境整備施設
- ・漁港施設 係留施設、臨港交通施設

[事業費]

- ・総事業費 3,813,400千円
- ・港湾施設 3,074,350千円（うち交付金 1,982,085千円）
- ・漁港施設 739,050千円（うち交付金 369,525千円）

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

(平成/年度)	基準年度 H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
指標1 観光客の増加 五島列島キリシタンクルーズ利用人数	969人	1,100人	1,300人	1,500人	1,900人	2,400人	2,400人	2,400人

毎年度終了後に長崎県文化国際部観光振興課による統計データを集計し、速やかに状況を把握する。

[事業が先導的なものであると認められる理由]

五島市においてマグロ養殖関連施設の準備・陸揚作業の安全性向上、軽労化といった就労環境の改善及び養殖用餌の安定的な確保を行い養殖の推進を実現する。

雲仙市においては、養殖用餌漁獲の基地にもなっている漁港で準備作業の安全性向上、軽労化といった施設整備することで、生産性の向上を図る。

(政策間連携)

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の平成30年度世界遺産登録がなされ、今後の観光客の増大が見込まれる中、それぞれ地域の観光資源や食文化を組合せ交流人口の増加を図ることで、さらなる水産物の消費拡大・販売促進を

図る。以上のことから港湾及び漁港を一体的に整備することにより、地域再生の目標達成に資することが期待できる点で先導的な事業となっている。

港湾施設（福江港、玉ノ浦港、相の浦港、椀島港）は長崎県国土強靱化地域計画に基づき実施するものである。

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「地域力の向上と〇〇海、魅力再発見」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 五島列島キラシタンクルーズ

内 容：個人では行きにくい離島間の世界遺産構成遺産を含む史跡を海上タクシーで巡回し、観光客の集客を図るほか、リピーターの確保を目指し、地域活性化を図る。

実施主体：五島自動車（株）

実施期間：平成 26 年～

(2) 市道白這線道路整備事業

内 容：奈留島夏井地区に平成 25 年度から新規参入したマグロ養殖事業に伴う大型車両の交通量増加が見込まれる。しかし、一般県道奈留島線及び白這～江上線が狭小であるため、車両間の離合が困難であり、歩行者及び車両の通行に支障をきたしており、新規に白這地区と宿輪地区とを結ぶ道路を整備し、地域住民の交通の安全及び利便性の向上を図る。

実施主体：五島市

実施期間：平成 25 年～平成 30 年

(3) 漁業担い手確保推進協議会

内 容：高齢化により減少傾向である漁業者の担い手確保のため、新しい漁業希望者に対し漁協及び構成委員による審査後、県及び市に対して支援措置の申請を図る。（県の「浜の魅力発信・漁業就業促進総合支援事業」及び雲仙市の「漁業就業者確保育成対策事業」により、支援）

実施主体：漁協

実施期間：平成 28 年～

(4) 原城跡保存整備事業

内 容：世界遺産構成遺産である原城跡の世界遺産登録及び保存に向けて、駐車場整備や説明板の更新等のハード整備だけでなく、タブレットを使用した新たなガイドシステムの構築等のソフト整備を行い、平成30年度世界遺産登録実現に向けた受入体制の強化を図る。

実施主体：島原市

実施期間：平成26年～平成28年

6 計画期間

平成28年度～令和4年度（7カ年）

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に長崎県、雲仙市が必要なデータの集計及びヒアリングを行い、速やかに状況を把握する。定量的な目標に関わる基礎データは、長崎県、五島市、雲仙市の統計データを用いる。中間評価、事後評価の際にも、同様の統計データにより、評価を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	(基準年度)	(中間年度)	(最終目標)
目標1 五島市マグロ出荷量の増加	平成26年度 900t/年	平成30年度 1,170t/年	令和4年度 1,350t/年
目標2 五島市観光客の増加	平成26年度 400,282人/年	平成30年度 467,481人/年	令和4年度 489,080人/年
目標3 五島列島キリシタンクルーズ参加者の増加	平成27年度 969人/年	平成30年度 1,500人/年	令和4年度 2,400人/年
目標4 雲仙市の漁業生産量の増加	平成26年度 275t/年	平成30年度 275t/年	令和4年度 334t/年

(指標とする数値の収集方法)

項目	収集方法
マグロ出荷量の増加	五島市市長公室政策企画班統計データより
観光客の増加	長崎県企画振興部政策企画課の統計データより
キリシタンクルーズ参加者の増加	長崎県文化国際部観光振興課の統計データより
漁業生産量の増加	雲仙市総務部政策企画課の統計データより

- ・ 目標の達成状況以外での評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

計画終了後、4に示す数値目標に照らし、本計画全体の事後強化を行い、ホームページ等で公表する。